ラート情報誌「わっ！」

第 60 号　2022 年　7 月

日本ラート協会オフィシャルホームページ　https://www.rhoenrad.jp　e-mail　office@rhoenrad.jp

世界ラート選手権大会

2022年5月23～29日、デンマークのセナボー(Sønderborg)にて『世界ラート競技選手権大会』が開催されました。

コロナ禍による中止を経て、4年ぶりに開催されたIRV国際大会には、13ヶ国93名の選手が集いました。日本からはラート部門でシニア選手10名ジュニア選手1名、シルホイール部門に選手1名が出場、健闘しました。

日本選手入賞者の結果は以下の通りです。

ラート

【シニア男子総合】

1	Simon Rufer	SUI	30.55
2	髙橋 靖彦	JPN	30.25
3	Malte Schröter	GER	29.35
4	Luca Christ	GER	28.90
5	Johannes Stolper	GER	27.95
6	Fabrice Schubert	SUI	22.65

【シニア男子跳躍】

1	後藤 龍一	JPN	10.50
2	Malte Schröter	GER	10.45
3	髙橋 靖彦	JPN	10.20
4	Luca Christ	GER	9.35
5	Fabrice Schubert	SUI	8.05
6	Casey Crowe	USA	6.75

【シニア男子直転】

1	Simon Rufer	SUI	11.50
2	髙橋 靖彦	JPN	11.25
3	Luca Christ	GER	10.95
4	Fabrice Schubert	SUI	10.10
5	Malte Schröter	GER	9.30
6	安高 啓貴	JPN	9.15

【シニア男子斜転】

1	Malte Schröter	GER	11.00
2	Johannes Stolper	GER	10.90
3	Simon Rufer	SUI	10.65
4	森 大輔	JPN	10.60
5	伊佐 義史	JPN	9.35
6	Casey Crowe	USA	8.20

【シニア女子跳躍】

1	Sarah Metz	GER	7.80
2	Chiara Lenzo	SUI	7.65
3	Karina Peisker	GER	7.45
4	松浦 佑希	JPN	7.30
5	Lara Patzer	BEL	7.15
6	Birgit Halwachs	AUT	6.70

【シニア女子直転】

1	Birgit Halwachs	AUT	11.50
	堀口 文	JPN	
	Karina Peisker	GER	
4	Isabel Pietro	GER	11.30
5	Shannon Rüttimannmin	SUI	10.30
6	Jasmin Hering	SUI	9.85

【団体予選】(TWC2023の予選)

1	Germany		54.75
2	Japan		51.00
	堀口（直転）	11.05	
	山田（直転）	10.10	
	髙橋(斜転)	8.70	
	森(斜転)	9.75	
	髙橋（跳躍）	10.10	
	後藤（跳躍）	10.00	
3	Switzerland		50.85
4	Austria		50.15

シルホイール

【男子総合】

1	Narten Hauke	GE	24.05
2	金井 茂樹	JPN	18.72
3	Casey Crowe	US	12.52

【IRV シルバトル】

1	金井 茂樹	JPN

（大会結果・動画詳細：　https://wheelgymnastics.sport/event/2022-world-championships/　）

日本選手団メンバーより大会の感想が寄せられていますので、紹介します。

【ラートジュニア選手】

宅和 花楓 洞峰ラート教室／遊学の里ラートサークル

初めての世界大会はいつもと違うことが多く、慣れるまで大変でしたが会場の雰囲気を楽しむことが出来て嬉しかったです！

本番の演技では緊張していまい跳躍・直転どちらも完璧な演技をすることができませんでしたが、楽しんで演技できたことに満足しています。世界の選手を実際に見て、自分もここに並べるようになりたい！もっと上を目指したい！と思うようになりました。

選手の方々、コーチの皆さんにはたくさんお世話になりました。そして応援してくださった方々のおかげでここまで頑張ることができたことに感謝しています。
このような貴重な経験をさせていただきありがとうございました！

【ラートシニア選手】

伊佐 義史 沖縄県立那覇国際高校

photo by Bart Treuren

久々の世界選手権が無事開催された事を嬉しく思います。社会人＆パパとして多忙の中の準備でしたが、大きなミスなく最後までやり切る事を目標に頑張ってきました。演技中は歳のせいかあまり緊張せず、準備したことを出せたかと思います。

長期間の海外生活の中で、選手の競技に向かう姿勢や精神力の強さ、日常のルーティーン、おもしろい一面などが見られ、とても良い経験になりました。また、水道水をがぶ飲みしてお腹こわしたり、自転車運転中の右折の仕方を学び、デンマークの文化も体感する事ができました。

今回はコロナ禍の開催で多くの困難がありましたが、皆で協力し困難を乗り越え、無事出場、そして帰国することができました。みんながチームに貢献する本当に素晴らしいチームでした。

出場にあたり、練習でのアドバイス、選考会、壮行会、大会の支援等、多くの方々にサポートしていただきました。また、日々の練習中、大会期間中に子どもたちを見てもらった妻には大変助けられました。この場を借りて感謝申し上げます。

瓜兼 汐里 筑波大学体操部 OG

はじめに、大会開催にあたりご尽力頂いた皆様に感謝申し上げます。大会に至るまで、そして大会期間中にも多くの方から応援の言葉を頂き、多くの人に支えられてここまで辿り着いたことを身に染みて感じました。感謝の気持ちでいっぱいです。

初めての世界大会、週末しか練習が出来ない中で思い描いていたレベルまで演技を仕上げることは到底出来ませんでした。しかし、今ある力を出し切れたこと、3 種目やり抜いたことには 100 点をあげたいと思います。社会人になっても新たな挑戦が出来る環境に感謝し、もう少し、努力を重ねたいと思います。

後藤 龍一 新潟市立五十嵐小学校 （団体：跳躍）

今大会で跳躍部門の金メダルを獲得することができました。初めての世界大会への出場で、慣れない環境に戸惑うこともありましたが、チームの方々の心強いサポートや、日本からの応援など多くのお力添えをいただき、精一杯力を発揮することが出来ました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。今後はさらに自身の技術を向上させるとともに、新潟から日本のラート競技を盛り上げていければと思います。

今後ともよろしくお願いいたします。

高橋 靖彦 秋田ノーザンハピネッツ㈱ （団体：斜転・跳躍） ※デリゲーションリーダー

photo by Bart Treuren

ベストを尽くした個人総合 2 位、直転 2 位、跳躍 3 位という結果に満足しています。山あり谷ありの中でよくがんばったなと。しかも、表彰台で若い選手たちが優勝して感極まっている姿を、すぐ隣で祝福できて幸せでした！

「How old are you??」と大会中に何度聞かれたことか。同じ数だけ「Amazing!」「Unbelievable」と言ってもらい、高難度の技や、新しい技にチャレンジし続ける姿勢が伝わったようで嬉しかったです！

世界のラート仲間との久々の再会に、話も弾みました。海外選手には秋田で開催した世界ラートチームカップ のＴシャツを着ている人が見受けられ、「とても素晴らしい大会だった！」「次はいつ日本で世界大会をするの？」と。今でも心に残る大会を開催できたことは誇りです！

今回の海外遠征は、国際的な社会情勢の影響で過去 1 番の負荷があったと思います。遠征メンバー一同が、それぞれの役割を担い、新しい方法の提案や実行をしてくださったお陰で遠征が成り立ちました。また、国内からの応援やご支援も、私たちを力強く支えてくださいました。関係者の皆様には心より感謝申し上げます！Tusind Tak!!

萩原 沙里菜　筑波大学 OB OG/日清医療食品株式会社

photo by Bart Treuren

初めての世界選手権は、多くの方に支えていただき無事に演技をすることができました。春から社会人となり、ラートを続けることの難しさを痛感すると同時に、ラートができることの喜びを噛み締めて臨みました。試合本番は何よりも楽しんで、大会の空気を全身で味わいながら演技ができて良かったです。跳躍ではあと一歩で決勝に届かず、悔しい思いもありましたが、大きなけがを乗り越え世界の舞台に立てたことはとても嬉しく思います。また、世界で活躍する先輩方の姿を見て、また来たい！次こそは！と思うことができました。

最後になりますが、今大会においてご支援ご声援くださった皆様への感謝の気持ちを忘れずに今後とも精進してまいります。ありがとうございました。

堀口 文　筑波大学体操部 （団体：直転）　※選手キャプテン

photo by Bart Treuren

2013 年に直転で銅メダルを獲得し、金メダルへの想いが芽生えてから 9 年。ようやく念願が叶い優勝することができました。その間、ラートを学びにドイツへ留学したり、大怪我を経験したり、コロナで世界選手権が中止になったり…楽しいこと以上に辛いこともありました。多くの方々の温かい言動に救っていただいたお陰で、最高のご褒美を手にすることができました。

今回は選手キャプテンということで、本来は選手を引っ張る立場でありました。しかし、予選前日に怪我をしてしまい、反対に助けてもらうことも多く、改めて仲間の大切さを感じる遠征となりました。2 種目棄権ということで、ご心配をおかけしてしまいましたが、現在は順調に回復しています。

これまで様々な方法で応援し支えてくださった皆様、コロナ禍という複雑な状況の中で遠征をともに乗り切った日本選手団のメンバー、最後に今大会への出場にあたり、日本選手団にご支援、ご声援くださった皆様に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

松浦 佑希　宇都宮大学

このような世界情勢にも関わらず，世界選手権を開催していただき，そこに選手として参加させて頂けたことは，本当に有難いことだと感じています．多くの方のサポートやご理解・ご支援があって叶ったことだと思っております，本当にありがとうございました．

私自身としましては，たくさんの応援やサポートをいただいたにも関わらず，思うような演技ができず，悔しさと申し訳なさが心に残っていますが，このような貴重な経験を積ませてもらえたことに感謝して，次に向けて精進して参ります．最後に，様々な形で応援・サポートしてくださった皆様に改めて感謝申し上げます．ありがとうございました．

森 大輔　たまラートクラブ （団体：斜転）

『15 年前の忘れ物を取りにいきました』

応援とご支援、誠にありがとうございました。このような状勢の中にも関わらずご助力頂けましたこと感謝申し上げます。

私にとって世界選手権の決勝は 15 年越しの挑戦（リベンジ）となる場であり、この場で失敗なく演技をやり遂げることは人生のやり残したことの一つでした。多くの失敗、挫折を経て今回、それが達成できました。大会の課題はこの 15 年間の想いと向き合うことでした。それは困難な事でした。ですが、この 15 年間の様々な方との出会いが困難を乗り越える力になりました。感謝の言葉しかありません。

本大会でもう一つ嬉しかったことは、15 年前は選手で今はコーチとして活躍している海外のラート仲間に会えたことです。彼らの活躍を見て「会えない時期は長かったけれどラート指導という点で同じ時間を過ごしていた」と言葉なくとも分かり合えました。写真はその仲間の 1 人が私の練習の補助にさり気なく入ってきて声をかけてくれたところです。胸が熱くなる思いでした。

この大会を通じて感じたラートの繋がり「輪」、大事にして参ります。

安高 啓貴　筑波大学体操部 OB

　出国から帰国までの 12 日間、とても充実した日々を過ごすことができました。仕事が忙しく、出場辞退も考えていましたが、本当に行ってよかったです。多くの方々の支え、励ましがなければデンマークの地に辿り着くことすらできなかったと思います。この場を借りて心から御礼申し上げます。

　実質ほぼ 2 週間しか練習期間をとれなかった中で、3 種目出場し、実力を出し切れたことは自分自身を褒めてもよいかなと思っている点です。

　ただ、直転では 6 位入賞を果たせたものの、もっとしっかり練習に取り組めていたら、3 種目とももっと違う結果になっていたのではと複雑な想いもあります。

　その想いを払拭するためにも、次回大会時には、忙しくてもしっかり練習時間を確保できるくらい仕事ができる人になっているよう、頑張ろうと思います！笑

山田 光穂　筑波大学大学院 （団体：直転）

photo by Bart Treuren

　初めての世界選手権出場であった前回大会が中止になって、ようやく叶えられた世界選手権出場。自分としては、3 種目演技しきれてよかったの一言に尽きます。本音を言うともっと練習を積んで挑みたかったですが、怪我も相次ぎ思うように練習が出来ず、直前まで練習できない技もありました。本番でも痛みは出てしまいましたが、なんとか全種目やり切ることが出来たのは、これまでサポートしてくださった方々の存在あってだと感じます。さらには、大ファンである福山雅治様にラジオを通じて応援していただけたことが、大変心強かったです。団体戦 2 位通過にも少しでも貢献できて嬉しく思います。

　最後になりますが、ご支援、ご声援くださいました皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

【シルホイール選手】

金井 茂樹　筑波大学 OB・OG

photo by Bart Treuren

　ご支援をくださった皆様、お陰様で、私は今回の世界大会を通して素晴らしい経験をすることができました。

　シルホイールの選手として賞を頂けたことの喜びはもちろんですが、何より私にとって最も嬉しかったことは、世界の選手や観客とシルホイールを通じて交流ができたことです。他国の選手とお互いの演技を見て賞賛しあったり、世界中から来た観客から暖かい声援を頂けたり、まさに夢のような日々を送ることができました。「シルホイールと出会えて本当に良かった」と心から思いました。

　今大会での思い出を、私は何年経っても忘れないと思います。ここで得た経験を、私は今後の自分の人生に生かしていきます。

　このような素晴らしい経験をさせていただくことができたのは、暖かいご支援をくださった皆様のお陰です。本当にありがとうございました。

【コーチ】

井上 咲子　新潟大学リズム体操部

　コーチとして初めて世界選手権に帯同させていただきました。選手の一番近くで演技を見守ることができ、とても幸せな時間でした。日本からも応援の声が毎日届き、とても心強かったです。深夜にも関わらず観戦いただきありがとうございました。また、コロナ禍ですが無事に帰って来られたのも多くの方々の支えがあってのことでした。深く感謝申し上げます。最後に、まだまだ未熟で分からないことばかりの私を温かく受け入れてくださった日本選手団の皆様、たくさんの感動をありがとうございました。

但馬 絵美子　ラートサークル SAKURA　※デリゲーションリーダー

　世界選手権、チームカップの参加は今回で 10 回目となりました。今大会では、今まで参加したどの大会よりも Wheel Family の温かさを感じました。ホストや IRV のスタッフの皆様はもちろんのこと、他国の選手・コーチ・審判員、そして観客の皆様からの気遣いや声援が心にしみました。

　前例のない渡航が難しい状況での遠征…。また、ここに至るまで練習環境に苦戦してきた選手たち。それぞれの事情を理解し、受け入れ、励まし称え合うという空気が会場を満たしていました。このような場にいられたことに大きな幸せを感じ、今後も Wheel Family の一員として活動しようと思いました。

　デリゲーションリーダー、コーチとしての自分自身の課題も見えてきましたので、次回選手団に帯同させていただく際は、よりよいサポートができるよう尽力したいと思います。

　応援ありがとうございました。今後もよろしくお願いします。

安高 理沙 筑波大学 OG

今回初めて世界大会のコーチを務め選手のサポートをさせていただき、本当に沢山の感動を受けた貴重な経験となりました。日本代表選手団、応援してくださった皆様に心より感謝申し上げます。

【国際審判員】

安部 夏月 東京農工大学・たまラートクラブ

国際審判員として世界大会に同行いたしました。高校生の時にジュニア選手として参加した最後の大会が 2016 年でしたので、6 年ぶりの世界大会でした。

審判員としての参加は初めてだったため、本番前は自分でもびっくりするくらい緊張しました。1 番最初のシニア男子予選の採点にて、2 桁の足し算にえげつない時間がかかったことは今ではいい思い出です。選手で大会に出場するときよりも緊張していたような気がします。日本からの審判員は私 1 人でしたが、他国の審判員の方々との交流ができたことは素敵な経験となりました。本大会で得た経験を、今後に生かしていきたいと思います。

大会の様子は以下のページで振り返ることができます。 https://www.facebook.com/rhoenradJPN/ https://www.instagram.com/rhoenradjpn/

Special thanks!!!

国内外で多くの方々が日本代表チームを支えてくださいました。ありがとうございました。

☆「あたたかいご支援をありがとうございました。」

この度、2022年世界ラート競技選手権大会日本代表選手団のために、あたたかい応援金を賜りましてありがとうございました。ここにお礼申し上げます。

～ ご支援いただいた方 ～ （五十音順）

石垣里彩子様・京子様， 浦志（堀場）みのり様， 瓜兼博子様
及川輝様， 小野一郎様， 北島瑛二様， 宗遼平様， 但馬明雄様・敏子様
但馬美菜子様， 田村千佳子様， 西井英理子様， 檜皮貴子様
冨名腰真子様， 松木やよい様， 松本陽一様， 丸山一生様・夏未様
本谷聡様， 横山（吉田）望様， 吉行暢子様， 和合谷繁満様

また、日本代表応援ポロシャツを21 名の方にご購入いただきました。ありがとうございました。

☆お土産をご提供いただきました

株式会社 安藤醸造 様

例年、ラート日本代表選手団は、現地でお世話になる方々へお土産を持参しています。高橋靖彦選手の地元秋田県角館の安藤醸造様から、「生醤油」をお土産として提供していただきました。海外のラート関係者や大会関係者に大変喜んでいただけました。ありがとうございます。

（ 安藤醸造 HP はコチラ http://www.andojyozo.co.jp/ ）

☆現地で選手を支えてくださいました

ジュニア選手の保護者として同行したご家族が、現地で選手団を応援、支えてくださいました。ありがとうございました。

宅和 由紀子さん

素敵なグッズもご用意いただき、
一致団結☆☆☆
応援に熱が入りました！！！

ラートの輪

「アスリートコミッション」

2022 年世界選手権にて、新たにラートの輪が広がりました。
大会期間に、参加者（ナショナルチームの選手&コーチ）の投票により、シルホイール選手として金井茂樹選手がアスリートコミッションに選出されました。
アスリートコミッションとは、提案や意見を受け取り、ディスカッションし意見をまとめ、IRV に伝える役割を担う委員会です。

photo by Bart Treuren

2023 年から国際規則が大きく変更されることもあり、選手やコーチからのコメントが多く集まることが予想されます。
レベルや年齢、国境を越えて、シルホイールやラートの仲間と積極的に交流をしていた金井選手、今後の活躍が期待されます。
皆さん、応援よろしくお願いします！！！

【事務局便り】

◎ 今年度の主な行事

イベント名	日程	場所
・ 第17回全日本学生ラート競技選手権大会	9/3（土）～4（日）	桜総合体育館（茨城県つくば市）
・ 夏季ラート実技講習会 （学生対象）	9/5（月）～6（火）	つくばカピオアリーナ（茨城県つくば市）
・ 夏季ラート実技講習会 （一般対象）※1	9/10（土）～11（日）	千葉県立手賀の丘青少年自然の家（千葉県柏市）
・ 目指せ名人！第 7 回ジュニアラート大会※2	9/24（土）	東京都港区スポーツセンター（東京都港区）
・ 採点規則講習会	11 月頃	オンライン
・ 第27回全日本ラート競技選手権大会	12/17（土）～18（日）	つくばカピオアリーナ（茨城県つくば市）
・ 春季ラート実技講習会 （一般対象）	3/11（土）～12（日）	千葉県立手賀の丘青少年自然の家（千葉県柏市）

※1 夏季ラート実技講習会 （一般対象）の詳細はコチラ→https://www.rhoenrad.jp/notice/5698
※2 目指せ名人！第7回ジュニアラート大会は、目指せ名人！ジュニアラート大会実行委員会主催の大会です。
第7回ジュニアラート大会詳細はコチラ→https://sites.google.com/view/ratomeijin

新型コロナウィルスの感染の状況を鑑み、予定は変更する可能性がありますので、ご了承くださいますようよろしくお願いします。

【編集後記】

世界選手権で感化され、久々に気合を入れてラートの練習をしました。思ったよりはなんとか回れたので、『もしかしたら、また全日本出場とか目指しちゃうかもしれない！』なんて思った今日この頃でした(笑) いや、そのためにはまず試合着が合う体にしなければ… うーん、無理な気がする。審判の皆さん、万が一私が出場した時にはハンデを 5.0 点くらいください！

日本ラート協会広報部会委員　但馬　絵美子